

文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	兵庫県姫路市	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界文化遺産姫路城公式ガイドツール整備活用事業		
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 33 年度		
5 過去の補助事業実績			
平成 23 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業	—		
平成 24 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業	—		
平成 25 年度文化遺産を活かした地域活性化事業	0千円		
平成 26 年度文化遺産を活かした地域活性化事業	0千円		
平成 27 年度文化遺産を活かした地域活性化事業	1,920千円		
平成 28 年度文化遺産を活かした地域活性化事業	25,470千円		
6 計画の実施状況（概要） ※平成29年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
<p>本計画は、特別史跡姫路城跡整備基本構想（平成20年3月策定）、特別史跡姫路城跡整備基本計画（平成23年3月策定）、姫路城重要文化財建造物等保存活用計画（平成25年8月策定）を踏まえ、世界文化遺産姫路城の資産のみならず、バッファゾーンを含めたエリアについて、さらなる活用と情報発信を通して地域の活性化を推し進め、歴史文化都市「姫路」を広く内外にアピールしていたため、世界遺産を広く紹介し、公開・普及のための公式ガイドツールを整備した。整備にあたっては、平成27・28年度に実施した世界文化遺産姫路城公式ガイドツール整備調査研究事業をベースとしつつ、あらたな計画として進めた。</p> <p>1. 情報発信事業</p> <p>(1) マルティメディアコンテンツ等の作成 過去や現在行っている保存修理等をはじめとする画像や動画、音声等のデータを収集、整理するとともに、必要に応じて新規に作成し、マルティメディアコンテンツとして作成した。</p> <p>(2) CGコンテンツの作成 世界遺産姫路城全体としては、対象範囲が極めて広いことから、理解のために欠かせない①藩主の居館等がある城郭中心部、②城下町全域を外観できるものに範囲を絞り、CGを作成した。この内、特段に一般市民や外国人等の来訪者の理解が進み、関心が大いに高まることを期待できるものを3次元化コンテンツとして作成した。</p> <p>(3) 外国語版ガイドブックの作成 平成28年度の日本語版公式ガイドブックを基に英語版を作成した。</p> <p>2. 普及啓発事業 平成29年度の公式ガイドツール整備活用事業について、一般市民向けに報告会を開催した。</p>			
7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 ※平成29年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。（指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載）。			別紙①②のとおり
8 効果等の検証・分析結果 ※上記7の進捗に対する検証・分析結果を記載し、併せて定性的な効果を具体的に記載してください。			
<p>世界遺産来訪者に対する提供情報の内容及び精度が向上することにより、遺産への理解度が向上した。失われた城郭建造物を含めた世界遺産の全体像への理解・関心が進んだことにより、新たな魅力の付加が進んだ。これらにより、姫路城縦覧者数が200万人前後で安定するとともに、姫路城周辺での事業参加者数も増加し、平成28年度に策定した「姫路市観光戦略プラン」で掲げる姫路城への外国人入城者数年間40万人以上等の目標達成はできなかったものの（H29年度 343,935人前年度比94.1%）、寄与することができた。</p> <p>得られた効果：</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産見学者への情報提供について、日本語環境では、ガイドブック等により大きく進んだ。 失われた城郭建造物等については、情報提供もあまりなされておらず、現地は空閑地となっている。CG等による復元については、本年度の外観・内観復元により、新たな魅力の付加が進んだ。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の参加者数 報告会85名 姫路城縦覧者数 1,824,703人（前年度比86.3%） マスコミ等での取り上げ 1件（神戸新聞 3/18 姫路版） 			

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	姫路城縦覧者数					関連事業 :	①～⑧	
目標値 1 :	平成 27 年度		2,867 千人		⇒	平成 33 年度		2,000 千人
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
1,825 千人	千人	千人	千人	千人	千人			
120%								
具体的な指標 2 :	外国人の割合					関連事業 :	①～⑧	
目標値 2 :	平成 27 年度		11 %		⇒	平成 33 年度		15 %
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
19 %	%	%	%	%	%			
222%								
具体的な指標 3 :	新規史料等の確認数					関連事業 :	⑨、⑩	
目標値 3 :	平成 28 年度		0 件		⇒	平成 33 年度		50 件
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度			
0 件	件	件	件	件	件			
0%								

様式 1 - 2 別紙②

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙（関連事業）

事業①：	マルチメディアコンテンツ等の作成					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	過去や現在の修理等をはじめとする画像や動画、音声等のマルチメディアコンテンツ等を作成する。										
具体的な指標：	姫路城ホームページでの再生回数										
目標値：	平成 28 年度		0 回		⇒		平成 33 年度		10,000 回		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 回	回	回	回	回	回						
事業②：	CGコンテンツの作成					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	失われた城郭建築等について、CGによる復元に基づいたコンテンツを作成する。対象エリアが広大で建築等の種類も多いことから、計画的な作成を進める。										
具体的な指標：	姫路城ホームページでの再生回数										
目標値：	平成 28 年度		0 回		⇒		平成 33 年度		10,000 回		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 回	回	回	回	回	回						
事業③：	外国語版ガイドブックの作成					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	平成28年度の日本語版を基礎に英語版を作成する。引き続き、中国語、韓国語を制作するとともに、フランス、ドイツ、スペイン、ロシアなどについても制作を目指す。										
具体的な指標：	外国語版の増刷り数										
目標値：	平成 29 年度		冊		⇒		平成 33 年度		35,000 冊		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 冊	冊	冊	冊	冊	冊						

事業④：	世界遺産ガイドの育成					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	世界文化遺産姫路城を正しくガイドできる高いレベルのガイドを新たに育成する。										
具体的な指標：	新世界遺産ガイドの登録者数										
目標値：	平成 29 年度		0 人		⇒	平成 33 年度		80 人			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 人											
事業⑤：	ヘリテージマネージャーの養成					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会等				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	建築、土木、庭園等の各分野のヘリテージマネージャを新たに養成する。										
具体的な指標：	新ヘリテージマネージャー活動者数										
目標値：	平成 29 年度		0 人		⇒	平成 33 年度		30 人			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 人											
事業⑥：	シンポジウムの開催					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	公式ガイドツール事業について、各実施年毎にシンポジウム、講演会等を一般市民向けに開催する。										
具体的な指標：	アンケート回答者の内、世界遺産に対する理解が深まった人数の割合										
目標値：	平成 29 年度		0 %		⇒	平成 33 年度		75 %			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 %											

事業⑦：	モニターツアーの実施					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会等				
事業区分：	(リストから選択してください。)					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	世界遺産登録25周年にあわせ、公式ガイドツールによるモニターツアーを実施する。日本語での実施状況をフィードバックしつつ、外国語ツアーも実施する。										
具体的な指標：	モニターツアー参加者数										
目標値：	平成 29 年度		0 人		⇒	平成 33 年度		50 人			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 人											
事業⑧：	世界遺産教材の作成					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会等				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	世界文化遺産をより深く理解できるような教材の開発・作成を行う										
具体的な指標：	教材の利用数										
目標値：	平成 29 年度		0 回		⇒	平成 33 年度		100 回			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 回											
事業⑨：	文献史料等の調査研究					実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会				
事業区分：	調査研究					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	古文書等の文献史料について、未出のもの探索、リスト化、既史料の翻刻等を行う										
具体的な指標：	新規の確認史料数										
目標値：	平成 29 年度		0 点		⇒	平成 33 年度		50 点			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 点											

事業⑩：	保存活用における課題研究		実施団体：	姫路城ガイドツール企画委員会等		
事業区分：	(リストから選択してください。)		事業期間：	平成 31 年度	～	平成 33 年度
事業概要：	世界文化遺産の保存活用における課題の抽出、解決策等の検討を含めた総合的な研究を行う					
具体的な指標：	新たに抽出する課題数					
目標値：	平成 29 年度	0 個	⇒	平成 33 年度	50 個	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
0 個	個	個	個	個	個	